

平成19年度の予算と主な事業

平成19年度一般会計予算および特別会計予算が、3月定例議会において成立しました。

予算の編成においては、「人と自然が調和する生活緑園都市」の実現に向け、行財政改革の推進による見直しを行いつつ、都市基盤整備はもとより、教育環境の整備や子育て支援、保健医療対策などソフト部門の施策についても配慮し、財源の重点的な配分に努めました。

今回は、その概要をお知らせします。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、三位一体の改革に伴う税源移譲や定率減税の廃止などを含めた税制改正により、大幅な増収となります。しかし一方で、所得譲与税や減税補てん債の廃止、地方特例交付金等が大幅に減少するため、歳入全体で見ると市税の増収効果は期待できません。

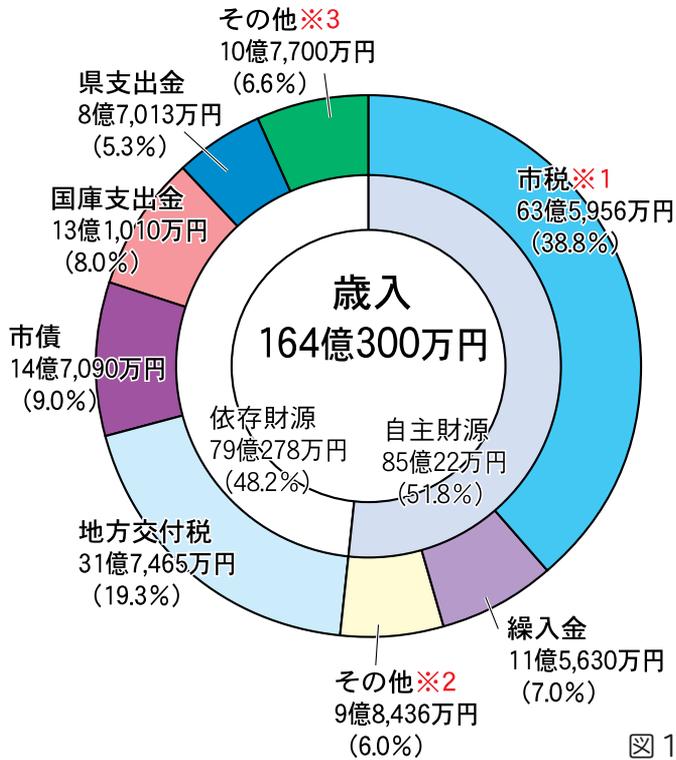


図1

※1 〈市税の内訳〉

- ・市民税……………32億5,130万円
 - 個人……………29億9,310万円
 - 法人……………2億5,820万円
- ・固定資産税……………25億5,862万円
- ・軽自動車税……………7,964万円
- ・市たばこ税……………4億7,000万円

※2 〈自主財源：その他の内訳〉

- ・分担金及び負担金……………2億6,685万円
- ・使用料及び手数料……………3億7,343万円
- ・財産収入……………1億813万円
- ・寄付金……………300万円
- ・諸収入……………2億3,295万円

※3 〈依存財源：その他の内訳〉

- ・地方譲与税……………2億8,200万円
- ・利子割交付金……………2,500万円
- ・配当割交付金……………1,700万円
- ・株式等譲渡所得割交付金……………1,000万円
- ・地方消費税交付金……………4億7,000万円
- ・ゴルフ場利用税交付金……………2,000万円
- ・自動車取得税交付金……………1億7,500万円
- ・国有提供施設等所在市町村助成交付金……………600万円
- ・地方特例交付金……………6,000万円
- ・交通安全対策特別交付金……………1,200万円

用語解説

◆市税

皆さんが、市に納めていただいた税金（市民税・固定資産税等）

◆所得譲与税

国が徴収する税金の中から一定の基準により市に対して譲与されるお金

◆減税補てん債

減税による減収額を補てんするために認められた特別の借入金

◆地方特例交付金

恒久減税に伴う地方税の減収の一部を補てんするために交付されるお金

◆繰入金

基金等から一般会計に繰り入れるお金

◆地方交付税

国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

◆市債

事業を行うために借入れるお金

◆自主財源

市税や施設の使用料などが独自で調達するお金

◆依存財源
国・県などの意志により交付される

当初予算規模

◇一般会計	※()内は前年度比増減率
164億300万円	(1.1%増)
◇特別会計	
158億7,016万1千円	(2.5%増)
(内 訳)	
・国民健康保険事業特別会計	58億7,282万3千円(8.5%増)
・老人保健事業特別会計	52億7,982万6千円(3.5%減)
・介護保険事業特別会計	
保険事業勘定	26億6,693万5千円(4.1%増)
介護サービス事業勘定	2,398万3千円(566.6%増)
・下水道事業特別会計	20億1,715万2千円(0.0%減)
・住宅新築資金等貸付事業特別会計	944万2千円(4.9%増)
◆予算総額	
322億7,316万1千円	(1.8%増)



一般会計・歳出

●目的別歳出 (図2)

社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が1/4以上を占め、前年度から3.5%の増となりました。

●性質別歳出 (図3)

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費)である「人件費」・「公債費」・「扶助費」が全体の半分以上を占めています。

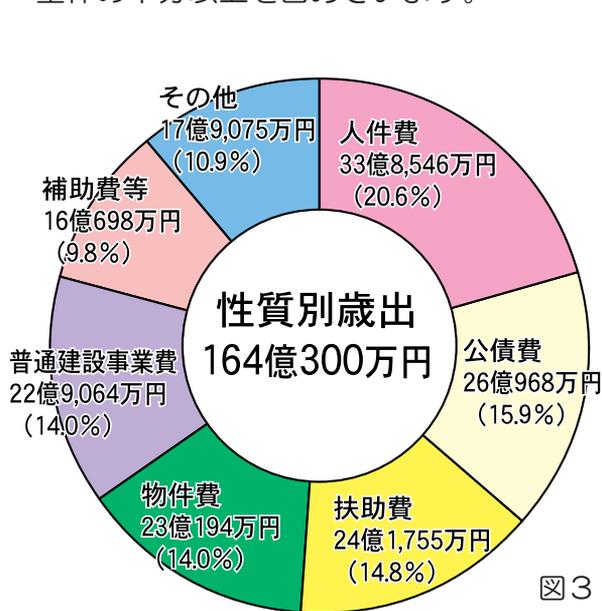


図3

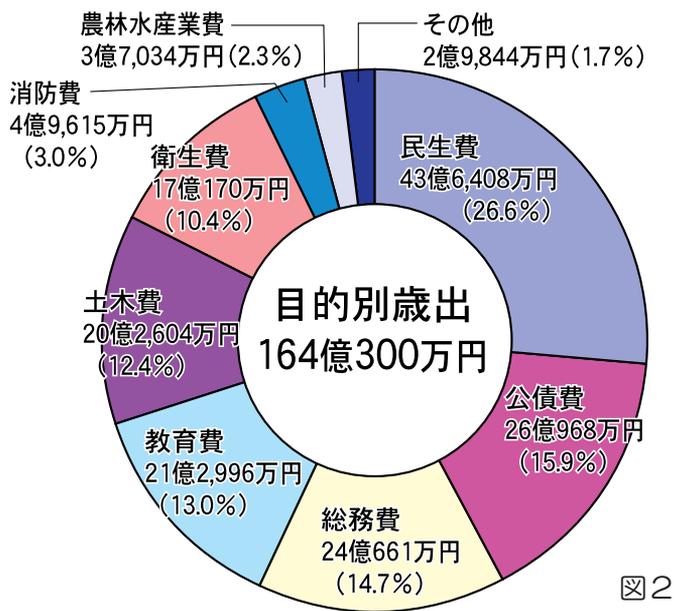
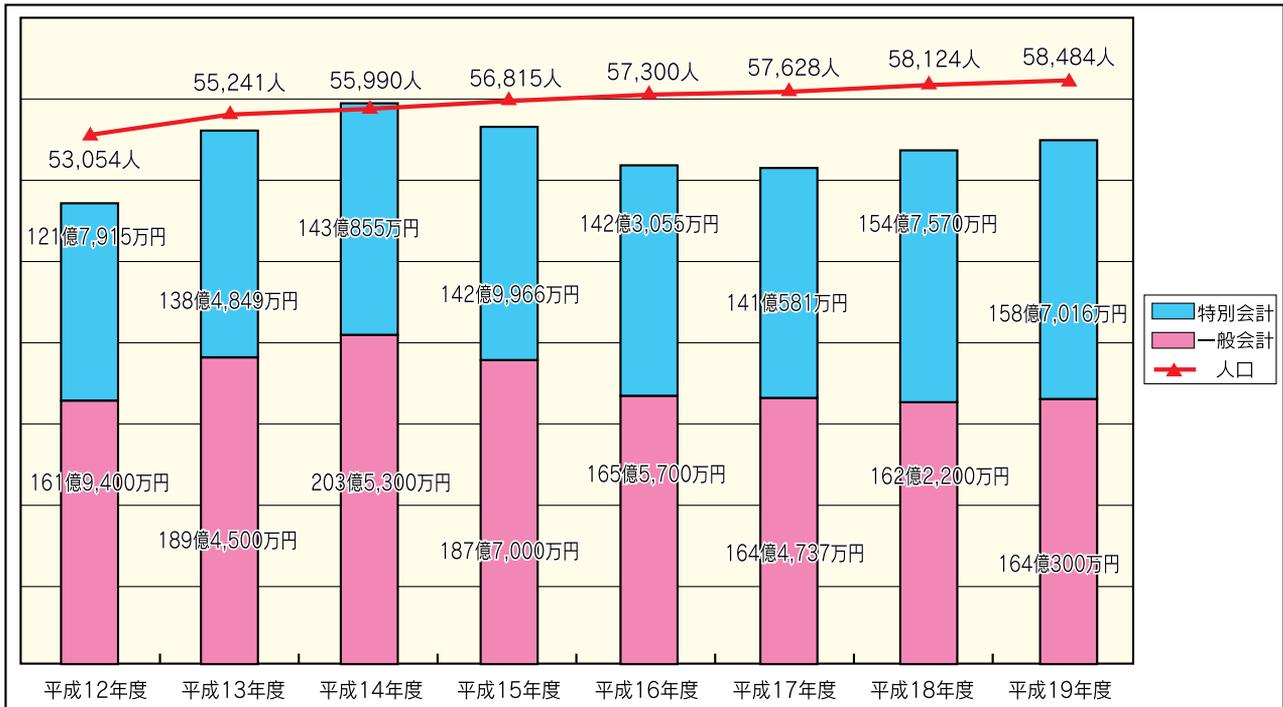


図2

- ◆ 一般会計
 - 市民生活と密接に関わりのある福祉・教育・道路整備等を行うため、市税や国・県からの支出金、地方交付税等を財源として行政を運営する会計
- ◆ 特別会計
 - 特定の歳入で特定の支出にあてて運営する会計
- ◆ 目的別
 - ◆ 民生費
 - 福祉全般の事務・事業に使つたお金
 - ◆ 公債費
 - 借入れたお金を返済するためのお金
 - ◆ 総務費
 - 課税徴収、選挙等市の総括的な事務に使つたお金
 - ◆ 教育費
 - 小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使つたお金
 - ◆ 土木費
 - 都市基盤整備や道路、公園、河川等の維持管理・改良等に使つたお金
 - ◆ 衛生費
 - 感染症予防、成人等保健、母子保健や環境保全、ゴミ処理等に使つたお金
- ◆ 性質別
 - ◆ 人件費
 - 職員や特別職の給与、議員及び各種委員会委員の報酬に使つたお金
 - ◆ 扶助費
 - 生活保護費、児童手当、医療費等に使つたお金
 - ◆ 物件費
 - 委託料、光熱水費、備品購入費等に使つたお金
 - ◆ 普通建設事業費
 - 道路・橋梁等の整備や公共施設の新設増改築等に使つたお金
 - ◆ 補助費等
 - 各事業や団体への補助金や負担金に使つたお金

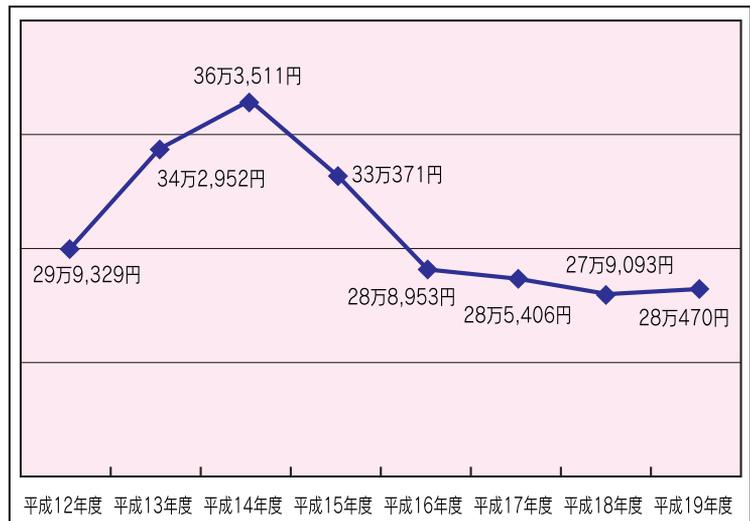
人口と予算の推移

(平成19年2月1日現在)



市民一人当たりの予算と推移

＜市民一人当たり一般会計予算の推移＞



●平成15年度から減少を続けていましたが、今年度は前年度に比べ1,377円の増となっています。

平成19年度
市民一人当たりの一般会計予算
28万470円
平成19年2月1日現在
人口：58,484人

歳出	
民生費	74,620円
公債費	44,622円
総務費	41,150円
教育費	36,420円
土木費	34,643円
衛生費	29,097円
消防費	8,483円
農林水産業費	6,332円
その他	5,103円

歳入	
市税	108,740円
地方交付税	54,283円
国庫支出金	22,401円
繰入金	19,771円
市債	25,150円
県支出金	14,878円
その他	35,247円



主な事業について

都市基盤・都市機能づくり

道路・交通網

- ・ 県道本郷基山線（西鉄高架事業）
- ・ 西福童・二森 32 号線（端間自歩道橋）整備事業
- ・ 端間駅周辺地区計画道路整備事業
- ・ 二森・八坂 34 号線（味坂校区幹線）道路整備事業

消防・防災・国土の保全

- ・ 第2分団(三国中学校区)消防ポンプ自動車買替事業
- ・ 第2分団2部格納庫用地買収事業 など



● 昨年の企業誘致セミナー(東京)

快適な居住環境づくり

環境衛生対策

- ・ 宝満環境センター次期施設建設負担金
- ・ 「休日リサイクルステーション」建設事業

下水道

- ・ 宝満川流域関連公共下水道事業（津古地区）
- ・ 筑後川中流右岸流域関連公共下水道事業（西島、大原、宝城南、二森、古飯、下岩田地区）

住宅・市街地

- ・ 小坂井住宅建替事業 など

ゆとりある教育と地域文化づくり

学校教育

- ・ 立石小学校校舎大規模改造事業
- ・ 御原小学校給食施設建設事業

生涯学習

- ・ 新アンビシャス広場づくり事業

男女共同参画社会の推進

- ・ 男女共同参画社会推進事業 など



● 立石小学校校舎大規模改造事業

共に創るまちづくり

広域行政

- ・ グランドクロス広域連携協議会
- ・ 筑後ネットワーク田園都市構想 など



● 二森・八坂34号線道路整備事業(二森から味坂方面)

活力ある産業づくり

農業

- ・ 小郡東部地区一般農道整備、大添ため池等整備事業
- ・ 高収益型農業経営、集落営農組織の育成推進事業
- ・ 農地・水・環境保全向上対策事業

商業

- ・ 企業誘致推進事業 など



● (仮称)休日リサイクルステーション予定地(福童)

やさしさのある健康と福祉づくり

児童福祉

- ・ 児童手当の拡充
- ・ 子育て支援「つどいの広場」開設(東野校区公民館内)

人権・同和対策

- ・ 地域人権啓発活動活性化事業

保健活動

- ・ あすてらすフェスタ など



● あすてらすフェスタ